

イノシシの隠れ場所をなくし、被害を防ぐ事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

・御調町千堂地区は谷合に耕作地があり、周囲の山から下りてくるイノシシの被害に頭を悩ませていたことから、地元町内会及び農事組合法人からの要望により整備を行った。

今後の展開

・除伐を行った範囲について森林所有者や耕作地所有者による維持管理を行い、継続して整備効果が発揮できるようにする。

取組の内容

- ・事業主体：尾道市
- ・実施場所：尾道市御調町千堂
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：0.58ha
- ・業務金額：1,308千円
- ・業務期間：令和2年2月27日
～令和2年3月19日



取組後の感想

【良かった点】

・耕作地を囲うように広く整備を行うことができたため、整備後は例年に比べ被害や出没頻度が減少したという報告があるなど、整備効果が表れている。

【悪かった点】

・地権者が相続登記を行っていなかったり、遠隔地に居住している等の要因により地権者の特定や同意の取得に時間を要したため、事業期間に余裕がなかった。

地域を象徴する山の景観を改善した事例

事業名：里山林整備事業（地域資源活用型）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

・瀬戸田町の中心市街地に隣接する潮音山は、山腹に建立されている三重塔と合わせて地域の代表的な景観となっているが、山頂や展望台周辺の景観が悪化する等の問題が発生していたため、地元から整備の要望があった。

今後の展開

・日ごろから潮音山の整備を行っている潮音山を愛する会を中心として、整備を行った範囲の草刈り等の維持管理を行っていく。

取組の内容

- ・事業主体：尾道市
- ・実施場所：潮音山（尾道市瀬戸田町）
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：除伐 0.9ha
支障木伐倒 一式
- ・業務金額：1,914千円
- ・業務期間：令和元年12月19日
～令和2年3月13日



取組後の感想

【良かった点】

- ・山頂や展望台からの眺望が大きく改善され、近年観光客が増加傾向にある瀬戸田の中心市街地における魅力の増加につながった。
- ・三重塔や消火設備周辺の灌木類を伐採したことにより、景観改善に加えて延焼防止や文化財保護の面からも有効な整備を行えた。

【悪かった点】

- ・土砂災害防止の観点から広い範囲の伐採が行えなかったため、港付近から三重塔をきれいに見ることができるようにする、という地元の人が望む形にまで整備するには至らなかった。

芸予諸島最高峰を住民たちの手で整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

・観音山は芸予諸島最高峰であり、隣接する茶臼山とともに島外からもトレッキング客が訪れる山であるが、近年は手入れ不足から景観が悪化したり、歩きにくい箇所が所々に発生していたため、地元住民団体が実行委員会を組織し、整備を行うこととした。

今後の展開

・実行委員会メンバーを中心に、本事業で整備した資機材類を活用して観音山及び茶臼山の整備を定期的実施する。
・地元の人が山に親しむ機会を増やすため、地元体育協会主催でトレッキング等のイベントを行う。

取組の内容

- ・事業主体：観音山の森づくり実行委員会
- ・実施場所：観音山・茶臼山
（尾道市瀬戸田町）
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：森林整備 6.0ha
遊歩道整備 2,800m
森林整備活動・講演会等 15回
- ・業務金額：27,000千円
- ・業務期間：H29年11月21日
～R2年3月31日

取組後の感想

【良かった点】

- ・急斜面にある景観支障木の整備や、多々羅大橋を望む展望スペースの新設など、普段は実施できない大規模な整備をこの事業をきっかけにして行うことができた。
- ・茶臼山はかつて生口水軍の拠点となっていた地であり、今回の整備を機にその歴史を伝える機会を設けることができた。

【悪かった点】

- ・平成30年7月の豪雨災害により本来整備する予定であった南側の登山道で土砂崩れが発生し、大幅な計画の変更を余儀なくされた。
- ・新型コロナウイルスの影響により、令和2年3月実施の茶臼山における里山保全・森林林業体験活動に小中高生が参加できなかった。

